



# おかやま連町だより

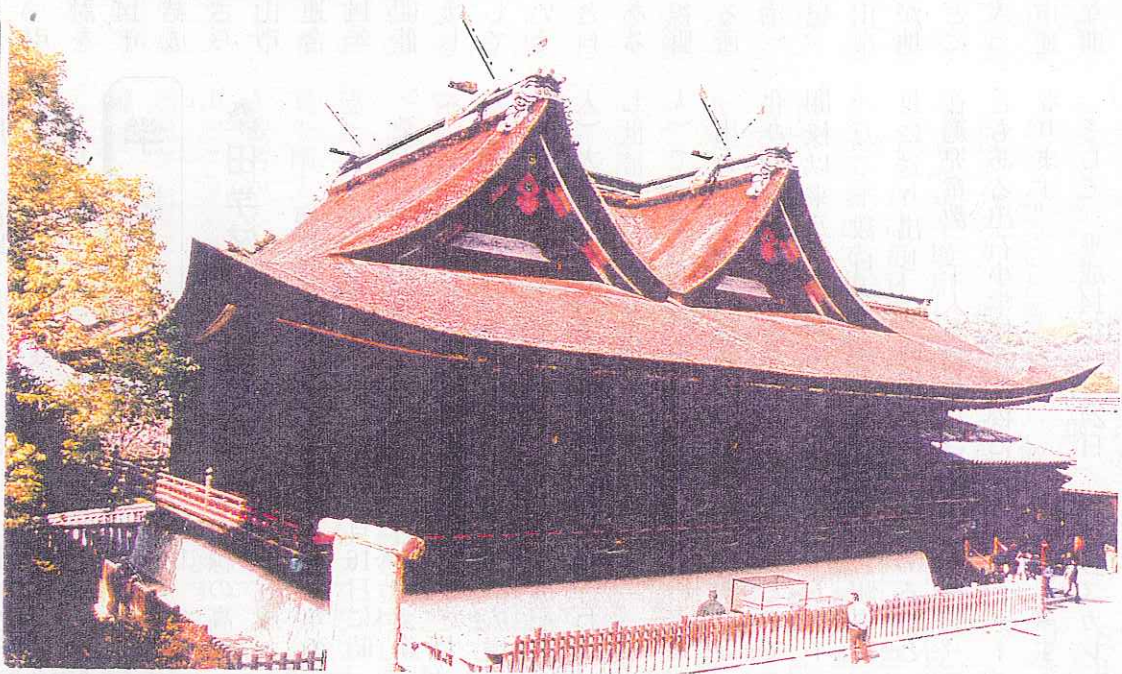
題字 兼松久和

第4号

発行 岡山市連合町内会 発行日 平成14年3月

吉備津神社

撮影 岡山市連合町内会 副会長 熊代武志



創立四十周年の

節目に想う

岡山市連合町内会

会長 兼松久和

春暖の候、会員の皆様方におかれましては地域活動の担い手として、また住民自治の発展のため日々ご努力下さり心から感謝申し上げます。本組織も今日まで「開かれた連合町内会、総意に基づき主体性をもって行動する連合町内会」を目指して、組織の改編、改革を行うとともに県内各地域の連合組織との連携・交流も、これまで以上に意欲的に進めてまいりました。

また、全国各都道府県自治会連合会の全体組織である全国自治会連合会におきましても、岡山県自治会連合会の代表あるいはその中核として先導的な役割を果たしてまいりました。これもひとえに、会員皆様方の不断のご努力と積極的な活動の成果の賜物であり、皆様方の力強いお支えにより全国に範たる岡山市連合町内会の存在を示してまいったところで

あります。

岡山市は今、「夢があり、持続的発展が可能な21世紀の岡山市を実現するための中期的な指針の策定」にむけ、多くの市民の方々から様々な形でパブリックコメントを求めながら「住みよいまち・住みたいまち」をめざしてがんばっています。その中でも、とりわけまちづくりの主人公を市民としてはっきりと位置づけ、市民とのパートナーシップが不可欠であることを明示していることです。これを町内会に置き換えて考えますと、地縁により築かれてきたこれまでのコミュニティが今、その崩壊が叫ばれるなかで、なお今日まで地道な地域活動により脈々とその生命力を待ち続けているのが町内会組織、そしてその連合体である連合町内会ではないかと思えます。今こそ町内会が市民ひとり一人を結び小さな共同体組織として互いに助け合い、連帯意識を育て、行政との協働関係を保ちながら、よきパートナーとして「まちづくり」の一翼を担っていかねければなりません。そのためには岡山市連合町内会がさらに結束を固めるとともに、県内の他の自治組

織との交流・連帯を拡大して  
いくことが不可欠です。岡山  
県自治会連合会への加入も本  
年度で一市二町が加わり、引  
き続き三町も具体的な検討を  
はじめております。平成14年  
度には岡山市連合町内会結成  
40周年記念大会の開催、さら  
には平成13年10月19日福山市  
で開催された全国自治会連合  
会広島大会において平成14年  
度の全国大会を岡山市で開催  
することが決定いたしましたし  
ました。また、私も機を一にして  
全国自治会連合会会長という  
大役を仰せつかり、一段と自  
らを律し住民自治を实效ある  
ものとするべく、全国的視野  
からも最善を尽くして参る所  
存であります。「住民自治」  
がキーワードとなる21世紀、  
石井岡山県知事、萩原岡山市  
長も自治会、町内会活動が地  
域づくりの母体となることに  
深いご理解を示してください  
ております。私たち岡山市連  
合町内会もこれらの様々な期  
待にこたえていくようさらなる

前進をしてまいらなくてはな  
りません。皆様方の一層のご  
健勝とご活躍を祈念申し上げ  
ごあいさついたします。

## 学区の動き

### 桑田学区の変貌

鹿田学区連合町内会  
会長 片山 晋

桑田中学校区は、出石学区  
(二千八十九世帯・三千九十  
人) 鹿田学区(七千二百十二  
世帯・一万四千九百八十八  
人) 大元学区(四千七百五十  
七世帯・一万三千六百九十  
人)で成り立っています。

出石学区では、都心の空洞  
化が顕著で、大正三年四月の  
開校以来八八年間にわたり  
一万二千数百人の卒業生を  
世に送り出し、一時期には  
在籍児童数二千人を超えたこ  
ともある出石小学校が閉校に  
なります。

そして、平成14年3月24日  
には、その輝かしい歴史と伝

統をほこる出石小学校の閉校  
祭が予定されています。

学校が姿を消すことで、コ  
ミュニティの在り方にも変化  
が予想されますが、今後の大  
きな課題と言えます。

鹿田・大元学区では、JR  
宇野線の高架  
事業の完成が  
あり、昨年の  
12月16日に時  
計台も備え新  
装に成った大  
元駅西口広場  
にて完成記念  
式典が行われ  
ました。

新しい大元  
駅は高架にな  
っているので  
プラットホー  
ムから駅周辺  
を眺めること  
ができます。

エレベーター  
はありません  
が、エスカレ  
ーターの設置

はありません。夜は無人駅と  
なるので出入者のモラルの高  
揚が望まれます。

六踏切の解消は学区のみな  
らず岡山市・岡山県にも大き  
な経済効果をもたらすものと  
期待されていますが、特に鹿

田学区については学区内の線  
路があったために生活上な  
かと支障がありました。

今後、高架周辺道路などが  
一日も早く整備され、自由に  
安全に通行できるようになる  
ことを願っています。

線路が高架になることにつ  
いての心配事の一つに列車の  
騒音・振動がありました。が、  
『創意工夫による大きな進歩  
があったのか、深夜の貨物列  
車の運行がほとんど気になら  
なくなりました。』との声が線路  
近隣の方からありました。

周辺整備も含めて今後この  
ような声が数多くあり、市役  
所のある街の活性化が一層進  
むことを願っています。

### 老人パワーで

#### ろう梅の里づくり

三敷学区連合町内会  
会長 菊山 稔英

輝かしい21世紀を迎えたは  
ずの昨年は、明るい展望も見  
えないうちに同時多発テロ等



で、一層混迷を深めたまま本年を迎えました。

景気の好、不況にかかわらず住民の要望は減ることはなく、町内会の力にも限界があり悩みも多い。

ここは右顧左眈することなく初心に帰り、市と市民を結ぶパイプ役に専念、住環境の整備、明るく美しい町造りのための努力、単位町内会はもちろん傘下町内会長同士の親睦を高める努力等して行こうと思います。そのためには、目線はあくまで住民側に置き、頑張るしかないと思っています。わが瓶井町長寿会(老人クラブ)には元気の良い会員が多く七年前に、自分達が住む町を綺麗にするため、昔から個々のご家庭で栽培しているろう梅を、今度は大勢の人に目に來てもらえるような「里」を造ろうと呼びかけたところ積極的に応じてくれ、希望者には種から苗作りをしてもらい、場所も安住院のご厚意で庭園の一角をお借り

し、草取り、整地の土、育った苗を移植、近年一〜二月の花の季節にはマスコミが取上げてくれることもあって、地元はもちろん、他町からの見学者も年々増加しています。

手入れは毎月第二日曜日、自主的参加で井戸端会議的雰囲気の中で草取り、清掃等行っており、大げさにいえば「瓶井町の新名所」がすべて手作り出来たと思っています。

これと並行、国富第二公園の草取り、清掃も同様の方法で行っており、定期的に利用している「母子クラブ」の評判も上々。

また遊びも団結力維持に必要なと、昨年グランドゴルフ用具を購入したがこれが受け、十数名がのめり込み、昨年の市民グランドゴルフ大会では当町から優勝者が出て、益々練習に熱が入っています。町内会としても、この良好なムードが長続きするよう出来るだけ支援していきたいと思っています。

## 歴史と梅と

### ミルクの里

太伯学区連合町内会

会長 奥山 勲

岡山市の東南に位置する太伯学区は、豊かな田園地帯であり神崎梅園の梅、邑久郷の酪農、緑と自然のあふれるところ。また、古くから牛窓と岡山を結ぶ牛窓往來の要所でもあり、岡山城を作ったとされる宇喜多直家の初陣の場所としても知られています。

明治21年の市町村制公布の時、それまでの乙子、神崎、邑久郷の三ヶ村を合併して太伯村を立村しました。命名にあたってその昔オク郡が大伯から邑久へと変更された事を理解して、邑久郡最大の村へと発展することを願って大伯に点打って最も大きいものという意味をもつ「太」に改変して太伯の漢字を用いて、オクとは読ませずタイハクと訓じたものと思われま。太伯村も西大寺市が誕生した時に「太

伯」の名は地図から消えました。幼稚園、小学校、保育園、消防団、連合町内会等が辛うじて名を残しています。

太伯学区連合町内会は、毎月第二土曜日を定例会と決めて集い、住みよい町内づくりと学区の

発展に向けて積極的な意見を出し合っています。

また、町内会で抱える悩みや問題点をみんなで話し合い解決に協力しています。その上で各町内会長の意思の疎通と

お互いの協力体制を築いています。

学区のコミュニティ協議会との関係も役員を連合町内会からも選出してコミュニティの運営に関わるなど協力しています。



学区民の親睦、コミニケー  
ションづくり、体育祭、夏  
祭りや敬老会、ふれあいまつ  
り等イベントにも力を入れて  
います。また毎年恒例の神崎  
梅祭りでは、町内会を中心  
に実行委員会を組織しそれ  
の町内会が祭りの準備や屋  
台の出店、もちつき等担当  
して祭り盛り上げて地元の  
宝である梅園、緑地公園を  
広く県内住民にアピールし  
ています。太伯学区にはす  
ぐれた各種団体と誇れる  
施設がたくさんあります。

この財産を一つの力にま  
とめて学区の活性化、住み  
よいまちづくりと地域活動  
をより発展させようとNP  
O法人設立に向けて動き  
始めています。地域情報紙  
のかわら版を出すグループ  
、岡山市無形文化財の「し  
ゃぎり」を守るグループ、  
小学校の校章であり地域の  
花かわら撫子を復活させ  
ようとするグループ、新人  
のお母さんのために幼稚園  
で子育て広場を開設する

グループ、銭太鼓や傘おど  
りでデイサービスセンター  
を訪問するグループ、神崎  
緑地梅園を管理し美しい自  
然を保存しようとしている  
グループ等々、目立たない  
地道にそれぞれの立場で努  
力しているボランティアグ  
ループがあります。その思  
いの一つ一つを大切に地  
域に輪を広げて行き大きな  
活動に発展させて行きたい  
と考え連合町内会ではNP  
O法人設立に向けて準備  
をしています。

### 岡南地域の今昔

福島学区連合町内会  
会長 中山四郎

岡南地域は、岡山市の南に  
位置し、淡水湖・阿部池・  
岡南飛行場等を擁する江戸  
時代以降の干拓によって陸  
地となった地域です。

昭和時代になり児島湾の  
旧堤防（昭和26年に開通  
した臨港鉄道が敷かれてい  
たところ）より南が藤田組  
によって

干拓され、現在の千鳥町・  
若葉町・福吉町以外の福島  
学区の町内会が誕生し、昭  
和27年には福島小学校が  
開校しました。そして、臨  
港鉄道の開通や旧岡山港の  
整備によって各種の工場が  
進出し、あたりは岡南工業  
地帯と呼ばれるようになりました。

また、福島学区の西方に  
広がる干拓地に現在の並木  
町・あけぼの町・築港緑町  
・築港新町・築港ひかり町  
・南輝の南輝学区が誕生し  
ました。

しかし、築港緑町にある岡  
山労災病院ができた昭和3  
0年頃までは、まわりには  
住宅はなく、見渡すかぎり  
草林が続いていました。そ  
れが急激に宅地化され人口  
も増加し、昭和48年には  
南輝小学校が開校し、続く  
昭和52年には福南中学校  
が誕生しました。この頃、  
住居表示事業によって、こ  
の地区一帯の町名も整えら  
れました。

やがて、大型スーパーや  
岡山市民の台所を支える中  
央卸

売市場の進出によって一  
層の都市化が進みました。

現在、福島学区の町内会  
加入世帯数は二千三百四  
十三世帯・南輝学区は四  
千四十六世帯です。町内  
会の数は二学区合わせて  
十八町内会となっています。

だが、御多間にもれず  
住民の高齢化と核家族化  
が進み、隣近所同士のコ  
ミュニケーションや地域  
社会の一員であることの  
自覚が薄れてきています。

そこで今まで努力して  
築きあげた地域作りの諸  
行事をますます充実させ  
ていきたいと思えます。

例えば、各町内会で企  
画する盆踊り大会・学区  
体育協会の企画する体育  
行事・中学校区で企画運  
営する保導協議会の青年  
の健全育成の活動等を  
とおして実現していき  
たい。それも福島と南輝  
の連合町内会が一体とな  
り一層連携を密にし共に  
知恵を出し合いながら。

### 福田地区の

### 活性化対策

福田学区連合町内会

会長 神崎 紀之

福田は、足守川と笹ヶ瀬  
川の西岸に位置しており、  
空から見ると蝶が羽を広  
げたような輪郭をしています。

平成6年頃から町内会  
（十八）、婦人会、老人会  
のほか、コミュニティ協  
議会が中心となり、花作  
り等の事業を実施してき  
ました。

平成13年度に実施した  
事業は次のとおりです。

一 水辺を考える釣り大会

日時 8月5日（日）

場所 福田地区内

参加人員 百二人

内容 ブラックバス等の減  
少を目的として数を競  
った。

一等 ブルーギル 六九匹  
一等 ブラックバス

全長四十二cm

二、川面ウオッチング

場所 ニコニコ広場より東



へ川舟(八石)

参加人員 四十人・五組

内容 川舟で一時間程度の

遊覧後にアンケート

をした。

アンケート結果

・水が汚い 100%

・大変楽しかった100%

三、夏祭り福田(盆おどり)

日時 8月11日

場所 福田小学校校庭

参加人員 千二百人

内容 「福田音頭」などの

盆おどりのほか、小学校、

中学校のPTAや商工会

などの出店、お楽しみ抽

選会などを行

った。また、

「環境コーナ

ー」を設け、

生き物「魚と

昆虫」の展示

をした。

四、花いっぱい

の福田の街

時期 三月か

ら十二月頃

場所 地区全

域

内容 温室を

備えた「憩い

の場」で、育

苗技術に長け

たボランティア

アのグループ

が年間にわた

って、すみれ、葉ボタン、サ

ルビア、菊、マリーゴールド、

ペチュニア等の苗を育て、年

間六千本を各町内会を通じ

て、幼稚園、小学校、中学校、

公民館、コミュニティハウス

及び各町内へ配付していま

す。町内会では環境担当員が

街角の民有地(空き地)を

さがして格好良く配置して

います。

平成14年は市の助成金が打

ち切りとなりますが、盆おど

りと花いっぱいには継続する計

画で経費は連合町内会で支出

することとしています。

伝統文化と

地域活性化

鯉山学区連合町内会

会長 吉田 芳功

真金吹く吉備の中山帯に

せる細谷川の音のさやけさ

当地は古代より吉備国の一

隅吉備津として歴史と文化に

彩られた伝統ある地域です。

○宮内地区

吉備の中山(山容が鯉の姿

に似ているので地元では別

名「鯉山」と言っています。

()に鎮座する吉備津神

社の門前町として江戸時代

「備中宮内山陽一ノ歌吹郷」

と頼山陽にいわしめるほど

繁栄しました。

○板倉地区

山陽道の宿場町として栄え

た。現在本陣跡に鯉山学区

コミュニティハウスが建っ

て活用しています。

大別するとこの二地区が現

在の鯉山学区の歴史です。当

学区は十二町内会で構成し、

千四十五世帯で学童数は横ば

いですが、住民の高齢化は年

々進んでいます。近年転入戸

数も増えだして倍増した町内

会も現れてきました。また

自然が豊かで住民も地区の

愛情と連帯意識は強いと感じ

ています。地域住民の交流、

ふれあいの場として各種団

体と協力しながら老若男女

参加のもと各種行事を行っ

ています。

主たる行事

○宮内踊り(県指定重要無形

民俗文化財)

吉備津神社奉納踊大会、学

区体育大会での全員踊り、

各町内会で後継者育成指導

各種イベント参加

○吉備津三味線餅つき

吉備津神社正月三ヶ日の参

拝者への紅白餅の奉仕、保

育園児、幼稚園児、小学生

を交えての餅つき大会、イ

ベント参加

○自然環境保護(清掃活動)

鯉山、鼓山、神社周辺、参

道駅周辺(観光客が多いの

で各町内会からも積極的に

参加してもらっています。)

○学区体育大会

幼児から老人まで参加可能

なプログラムを編成

○学区コミュニティ祭り

作品展示、芸能発表、バザ

ー出店(二日間開催)

○三世代交流文化活動

オペラ、演芸、音楽(若

いお父さん、お母さんが中

心で活動)

これからも各種団体と協力しながら伝統文化の継承、青少年の育成等に励みたいと思えます。吉備津の特性を生かし皆さんが「吉備津に住んで良かった」と実感しお互い笑顔で語り合えたらと願うのみです。

### 岡山市連合町内会の動き

◎岡山市連合町内会  
会研修視察

◎岡山市連合町内会定期総会  
(平成13年6月1日)

(一)平成12年度事業報告・決算の承認、平成13年度事業計画・予算の承認

(二)新役員の承認  
今年度は、役員の改選期に

あたり、兼松

久和会長はじめ、役員三十三名が承認されました。

(三)規約の改正

規約第二条組織及び会員の改正等の承認費用弁償支給規程・学区運営費補助規程の設定

(四)一学区一連合町内会について

申し合わせ事項の報告

(平成13年11月1日～2日)

会員六八名が水戸市住みよいまちづくり推進協議会を訪問し、住民自治組織の活動状況等について意見交換をし、翌日には弘道館・徳川博物館(彰考館)・偕楽園等を見学しました。

◎岡山市連合町内会

新春互礼会・市政報告会

(平成14年1月10日)

ホテルニューオカヤマに於いて萩原市長、宮武市議会議長、菱川助役、時枝助役、高田収入役等と会員八十名が出席し兼松会長のあいさつの後、岡山市連合町内会関係の受賞の報告及び花束の贈呈があり、市長の市政報告、来賓あいさつの後、懇談しました。

◎岡山市連合町内会

創立四十周年記念事業

準備委員会の設置

平成14年度に岡山市連合町内会の創立四十周年を迎える

にあたり、四十周年記念事業準備委員会を平成13年7月に設置し、役員他三十八名で構成し、委員長に兼松久和会長

副委員長に赤木實男会長(深抵地区)近藤正和会長(芳泉学区)を選任しました。総務部会・事業部会に分かれ式典・アトラクション・記念誌編纂等について検討しました。

・姫路市連合自治会創立五十年記念大会の視察  
(平成13年7月27日)

・福山市町内会連合会三十周年記念大会の視察  
(平成14年1月25日)

電子町内会へ向けて

岡山市連合町内会は、ホームページを立ち上げました。

岡山市は、岡山市と連合町内会長、町内会長のコミュニケーション強化をインターネットを介して行う「岡山市・町内会長連携システム」を構築し、町内会活動における事務の効率化や町内会長同士の情報交換の緊密化等を図るた

め、市との公文書のやりとりをする『岡山市からのお知らせ文書』、『意見交換の場』での意見交換、市政への提言や質問を行うことができる『市

への意見・問合せ』などの機能を備えた町内会長専用のポータルサイト(ホームページ)を設けました。

また、地域の支援ネットワークづくりの一環として、町内会長や電子町内会参加者等に対するパソコンの操作方法の指導・支援を行う「市民情報ボランティア」を募集しています。

不法投棄防止

対策への協力

岡山市に「岡山市不法投棄防止対策連絡協議会」が設置され、会長に兼松久和会長が選任されました。また、岡山市連合町内会から、同協議会幹事会に各ブロックごと、三名～四名の幹事を推薦し、それぞれ地域で、啓発活動等に取り組んでいます。



栄えある受賞報告

◎永年勤続町内会長・区長等

県知事表彰

(平成13年5月15日)

・十五年以上町内会長等を務めた方 十三名

◎岡山市連合町内会表彰式

(平成13年6月1日)

・十年以上学区連合町内会長の職にある方 一名  
 ・十五年以上単位町内会長の職にある方 八名  
 ・五年以上連合町内会長の職にあり退職された方 五名  
 ・特別に功勞のあった方 一名

◎総務大臣表彰

(平成13年11月19日)

本年度は、南方学区連合町内会長 谷田隆氏が受賞さ

れました。

◎岡山市町内会長表彰状・感謝状贈呈式

感謝状贈呈式

(平成13年12月3日)

町内会長表彰状・感謝状贈呈式

平成13年12月3日

町内会長表彰状 感謝状贈呈式



・十五年以上学区連合町内会長の職にある方 一名  
 ・二十年以上単位町内会長の職にある方 八名  
 ・五年以上単位町内会長を務め退任された方 四十六名

お知らせ

岡山市連合町内会関係の会議等を次のとおり、予定しておりますのでお知らせいたします。

\*平成14年度

岡山市連合町内会定期総会 平成14年5月28日(火) 午前10時

メルパルク岡山

\*岡山市連合町内会研修視察 平成14年8月10日(日) 11日(月) 高知市

\*全国自治会連合会岡山大会 平成14年10月23日(水) 午後1時30分

岡山コンベンションセンター

\*岡山市連合町内会創立四十周年記念大会 平成15年1月17日(金) 午前10時

岡山シンフォニーホール

岡山県自治会連合会の動き

御津町、吉井町、倉敷市児島が新たに加入

◎岡山県自治会連合会総会

(平成13年7月3日)

富村「五葉邸」において岡山市十名、建部町二名、富村五名、オプザーバーとして東栗倉村区長会長春名清氏の参加により、開催。

平成12年度事業報告、収支決算報告、平成13年度事業計画、収支予算案の承認を得た後、

平成14年度全国自治会連合会全国大会の岡山開催を決議しました。

また、役員改選が行われ、岡山市連合町内会から、会長として兼松久和氏、副会長として岩田章氏、理事として佐藤正信氏、那須友也氏、近藤正和氏、熊代武志氏、白川文弘氏、長江勘次郎氏、黒住小弥太氏が選任されました。

◎岡山県自治会連合会 加入促進活動の動き

平成13年2月に開催された岡山県自治会連合会正副会長

と県知事との懇談会の申し合わせにより、今年度から地方振興局別に住民自治組織代表者と県知事との懇談会が開催されました。

懇談会の場において、岡山県自治会連合会への加入の呼びかけを行うとともに、全国自治会連合会岡山大会への参加を呼びかけました。

・7月 市長会・町村会訪問

・8月 東備地方振興局内住民自治組織代表者と県知事懇談会出席。

・8月 岡山地方振興局内住民自治組織代表者と県知事懇談会出席。

・9月 岡山県自治会連合会正副会長会議において、前岡山市連合町内会常任理事犬飼進氏(西学区)が平成13年11月24日に急逝されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

全国大会実行委員会設置を決定。

・9月 児島自治会連合会を訪問し、全国大会実行委員会への参加、岡山県自治会連合会への加入促進。

・10月 岡山県生活環境部長を訪問し、全国大会への県補助金の要望。

・10月 早島町自治会等連合会を訪問し、全国大会実行委員会への参加、岡山県自治会連合会への加入促進。

・11月 山口県自治会連合会

研修会へ参加し、兼松会長来賓祝辞。

・11月 津山地方振興局内住民自治組織代表者と県知事懇談会に出席。

・12月 全国自治会連合会岡山大会実行委員会を発足。

御津町区長協議会・倉敷市児島自治会連合会、吉井町区長会が、岡山県自治会連合会へ加入表明。

・2月 第二回全国自治会連合会岡山大会実行委員会開催。

## 全国自治会連合会の動き

### 兼松会長、全国自治会連合会会長に就任

岡山市連合町内会は、全国自治会連合会創立当初から単市で加入し、いち早く全国レベル・対国政レベルでの活動を組織に強く反映させてきました。

平成11年度の岡山県自治会連合会の発足、兼松会長の全国自治会連合会副会長の就任に続き、平成13年度は岡山市連合町内会にとっては歴史の一ページを飾る画期的な年となりました。

即ち、平成13年10月19日に開催された広島大会において、全国自治会連合会会長に就任されたことでもあります。

全国自治会連合会においては、卓越した指導力、改革精神を発揮され、全国二十八都道府県連合組織の代表として衆目の認めるところであります。

会長は常々「岡山市連合町内会の基盤なくしては県連・全連の自分はありません。」という信念で行動されています。

す。このことは、岡山市連合町内会の歴史と伝統が県及び全国に生かされるということに他なりません。「事務局」

### ◎理事會

・6月 第一回理事會

平成12年度事業報告、収支決算報告、平成13年度事業計画、収支予算案の承認。

・8月 第二回理事會

兼松会長全国自治会連合会会長代行に就任

### ◎全国大会

平成13年9月19日に全国自治会連合会広島大会が福山市で開催されました。岡山県自治会連合会から多数参加し交流を深めました。

◎全国自治会連合会加入促進活動

今年度、福島県が新たに加入し、二十八都道府県となりました。中四国では、島根県益田市・太田市、愛媛県自治会連合会、近畿では、奈良県自治会連合会、大阪府堺市を訪問し、会長自ら加入促進のため情報提供と意見交換を行いました。

### ◎全国自治会連合会中四国

ブロック会議の開催

全国自治会連合会加入四県の県連組織代表者・事務局の参加の下、第二回会議が山口県防府市で開催されました。会議は、各県連合組織への加入促進策、全国自治会連合会の法人化について活発な意見交換が行われました。また、全国自治会連合会の加入促進活動における各県連合組織の連携を申し合わせました。

今後は、全国自治会連合会加入の有無を問わず、構成団体とし、中四国自治会連絡協議会に組織を改編し、一層の充実を図ることにしました。

### ◎総務大臣との懇談

昨年度に続き片山総務大臣と全国自治会連合会会長・副会長が懇談を行い、全国自治会連合会理事会での要望事項である総務大臣感謝状贈呈規程を総務大臣表彰規程に改正するよう要望しました。

この要望は、直ちに聞き入れられ今年度から表彰制度に切り替えられました。このことは、国策における住民自治組織の位置づけの向上として評価できると思います。

## 編集後記

去る2月27日について時間を忘れるほど熱中した編集会議を終え、二十一世紀の夜明けと共に住民自治の時代との認識のもと「開かれた住民自治の発進は岡山から」ということで本年度は、10月23日に全国自治会連合会岡山大会、1月17日には岡山市連合町内会創立四十周年記念大会と二大イベントが開催される企画等昨年から準備会ときぜわしく、また、年度末を控え何とかと多忙を極める中を各ブロックの連合町内会長さん及び事務局の方々に原稿をご依頼いたしましたところ、早速にご寄稿いただきまして心より感謝いたしました。

次回以降も広くご意見、企画等をいただき一層内容の充実を図ってまいりたいと存じますので、皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

編集委員長

黒住 小弥太